

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所
(さともん)

令和 8 年度（第 12 期）通常総会議案書

令和 8 年 6 月

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所 令和 8 年度通常総会

開催日時 令和 8 年 6 月 29 日 12 時 00 分から 13 時 00 分まで
場 所 兵庫県丹波篠山市味間新 315 さともん事務所

議事次第

1 開会

2 議長選出

3 議案

- (1) 第 1 号議案 令和 7 年度（第 11 期）事業報告
- (2) 第 2 号議案 令和 7 年度（第 11 期）活動計算書報告
- (3) 第 3 号議案 令和 8 年度（第 12 期）事業計画（案）
- (4) 第 4 号議案 令和 8 年度（第 12 期）活動予算書（案）
- (5) その他

4 閉会

【資料】

- 資料 1. 令和 7 年度事業報告
- 資料 2. 令和 7 年度活動計算書報告
- 資料 3. 令和 8 年度事業計画（案）
- 資料 4. 令和 8 年度活動予算書（案）

令和7年度事業報告書

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

1. 活動の成果

令和7年度は、10周年関連のイベントを企画し、設立当初から掲げてきた「獣がい対策を起点とした地域再生」という理念のもと、地域支援を拡大していくために、未来にむけて財政基盤の確立や人材育成に向き合う年となりました。セブン-イレブン記念財団からNPO基盤強化助成を受け、CSA（地域支援型農業）の推進に注力しました。また、上廣倫理財団の助成を受け「里山共生学創成のための教育事業開発」にも取り組み、野生動物の肯定的価値の創造や、野生動物共生可能な地域づくりにむけた人材育成といった未来志向の教育的実践にも幅を広げました。以下に、定款に掲げる事業ごとに、令和7年度に展開した主な事業内容を簡潔に報告します。

（1）地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業では、大分・島根・岡山・兵庫・京都など各地でサル対策や電気柵設置支援、調査、研修などを行いました。丹波篠山市では支援員の活動支援や、集落主体の捕獲体制づくり・人材育成に取り組みました。（2）獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業として、講師派遣や視察対応を行い、WebサイトやSNS、メルマガ、大阪・関西万博関連イベントなどを通じた情報発信を強化しました。（3）地域の獣害及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業では、「黒豆ファミリー」「農村チャレンジ」や「川阪オープンフィールド」「川阪のしずくオーナー」などを通じて都市住民との交流を拡大しました。栗拾いやピザづくり、草刈り、獣害柵点検、祭り支援などを実施し、関係人口の創出に貢献しました。（4）獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業では、電気柵などの資材提供に加え、黒枝豆・丹波栗・無農薬米「篠来たる」などをオンラインやイベントで販売し、地域農産物の価値向上と所得向上を支援しました。（5）獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業では、センサーカメラを用いた野生動物の行動調査を行い、地域ごとの被害実態の把握と対策提案に活用しました。（6）人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業では、上廣倫理財団の助成を受けて市民調査やツーリズム、人材育成プログラムなどを通じて多様な学びと関係人口の創出を推進しました。（7）里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育てを支援する事業として、旧おとわ園を活用した「おとわの森子育てママフィールド」の運営を継続し、子育て中のママが安心して参加できる仲間づくりや自己表現、心のゆとりを育むイベント・勉強会を多数実施しました。

2. 特定非営利活動に係る事業

（1）地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業

ニホンザル対策支援

① かんしょ産地サル被害対策実証事業ニホンザル対策推進業務（大分県）

大分県臼杵市野津町においてかんしょ生産者のニホンザル対策実施状況を把握し、野津町周辺におけるニホンザルの生息状況に応じた適切な個体数管理と効率的な被害対策を推進するため、モデル集落の対策状況調査と集落住民に対するアンケート調査を実施するとともに、モデル集落での対策指導や実証圃場を使用した防護柵の設置方法についての指導に取り組んだ。



② サル複合対策推進業務（島根県川本町）

川本町において、ニホンザルの生息状況に応じた適切な個体数管理と住民主導による自主的な被害対策を推進するため、サル対策に効果の高い「おじろ用心棒」を用いたサル用電気柵のモデル圃場での効果的な電気柵の活用方法、サルの追い払いならびに位置情報を活用した追い払い体制に関する研修などを実施した。また、定期的に検討会議を行い、川本町のサル対策の進捗確認・改善にむけた提案・説明、翌年度事業計画策定の支援等を行った。



③ サル用電気柵設置事業（岡山県高梁市）

天然記念物「臥牛山のサル」（高梁市）のニホンザルによる農作物への食害を防止するための電気柵を設置した。



④ 大丹波地域サル対策広域協議会関連業務（大丹波地域サル対策広域協議会）

丹波篠山市を中心とする大丹波地域サル対策広域協議会の事務局運営のほか、地域住民や自

治体職員に対する研修を実施した。



⑤ ニホンザル生息状況調査・対策支援業務（京都府福知山市）

福知山市三和町川合地内に出没するニホンザル（綾部E群）の生息状況に応じた適切な個体数管理と住民主導による自主的な被害対策を推進するため、ニホンザルの個体数調査を実施するとともに、これまでの対策経過を整理し、今後の対策の方向性について検討した。

その他獣害対策支援

⑥ ICTを活用した有害鳥獣対策モデル事業計画支援（京都府）

2地域のモデル地区を対象に、野生鳥獣による農作物被害の防止に向けた集落点検やワークショップ等を企画・運営し、集落の効果的な鳥獣被害防止対策の検討や実施した対策の効果を検証し、改善策等の助言・指導を行った。



⑦ 獣害対策指導業務（国立療養所 邑久光明園）

邑久光明園周辺に設置されている獣害柵の定期点検を実施し、設置状況や効果の評価をした。また野生動物の生息状況調査・出没状況の確認を行うほか、今後の対策提案を行った。



⑧ 実施隊支援・強化活動事業（丹波篠山市）

丹波篠山市内の 6 集落（火打岩集落・後川上の東集落・辰巳集落・東浜谷集落・西浜谷集落・川阪集落）において、安定かつ継続して被害対策を実施できる体制を整備するために、地域住民が主体となって対策を行うための中心的役割を果たす人材の育成や、地域の体制づくりを支援した。



調査業務

⑨ ニホンザル研究支援業務（兵庫県）

兵庫県下に生息するニホンザルのうち、篠山地域個体群と大河内・生野地域個体群の計 9 群の群れの個体数調査を行った。

獣がい対策支援

⑩ 獣がい対策支援員コーディネート業務（丹波篠山市）

丹波篠山市では、獣がい対策支援員を 2 地域（畑地区、西紀北地区）に配置し、地域の課題に応じた住民主体の鳥獣被害対策を支援し、かつ、人口減少・高齢化が進む地域に対しては多様な人材の参画を促し、地域を元気にする鳥獣被害対策（獣がい対策）を推進している。本業務では、2 名の獣がい対策支援員のコーディネート業務を受託し、支援員の活動を支えるとともに、地域と連携しながら事業の推進を図った。



(2) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業

- ① 獣害対策に先進的に取り組み地域として、研修講師派遣や視察受入を行った。
- ② さともん活動の発信のため。Webページ（ブログ更新）、Facebook、Instagram、X、YouTubeのほか、令和6年度よりX（2アカウント）を新設し、運営した。
- ③ メルマガの配信
不定期配信の都市住民向けメルマガ（登録者数 622 名：2026 年 5 月現在）と週 1 回程度配信のさとぼらメール（登録者数 425 名：2026 年 5 月現在）を発行した。
- ④ 大阪・関西万博関連イベントでの PR
ひょうごフィールドパビリオンとして、MR 映像やパネル展示等で PR を行った。
- ⑤ 10 周年イベントの開催

2025 年 5 月 24 日土曜日、さともの 10 周年記念イベントを開催し、地域の方やイベント・ボランティアの参加者、インターンを経験した学生など、たくさんの方に参加いただき、この 10 年の活動振り返りつつ、今後の展望を共有した。



- ⑥ 丹波篠山市畑地区（みたけの里づくり協議会）農林水産大臣賞（被害防止部門）を受賞
農水省の「令和7年度鳥獣対策優良活動表彰」で、丹波篠山市畑地区（みたけの里づくり協議会）の獣がい対策の取り組みが農林水産大臣賞（被害防止部門）を受賞した。



⑦ 全国鳥獣害対策サミット

第13回 全国鳥獣被害対策サミット「鳥獣害を超える！～多様な人材が描く、新しい獣害解決への道～」が開催され（Part1:東京会場 令和8年2月12日（木）、Part2:大阪会場 令和8年2月26日（木））、両会場のシンポジウムで、さともん代表の鈴木がコーディネーターを務めた。またブース出展も行った。



(3) 地域の獣害及び里地里山の恵みをわちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業

地域の獣害発生状況を伝え、守り継承したい里地里山の恵みを都市住民に気軽に体験してもらうために、以下のプロジェクト・イベントを実施した。|

① さともんオーナー制度

地域に存在する豊かな「里の恵み（さともん）」を獣害から守り、継承していくためのオーナー制度として、以下を実施し、SNS等で生育状況や野生動物出没状況を報告した。

A) 鳥害から守るブルーベリーオーナー

雪害で被害を受けたブルーベリーオーナーを休止し、代替して「小さなブルーベリーが大きく育つまで見守る会員」を開始し 19 口の申込を得た。|



B) 獣害から地域を守る丹波篠山黒豆ファミリー/オーナー

黒豆オーナーについては、通常の黒豆オーナーに加えて、黒豆オーナープレミアムを新設した。前者は 37 口、後者は 34 口、計 72 口の参加者（購入者）を獲得した。また、現地体験型の黒豆ファミリーを 52 口、新たに 1 畝貸しの黒豆づくりを行う「農村チャレンジ」を企画し、2025 年度に 7 口の参加、2026 年度の予約で 16 口の参加者を得た。また、耕作放棄地を活用した畑で丹波黒豆・山の芋・夏野菜栽培などのボランティアを募集し、活動した（計 32 回、198 名が参加）。その他、地域の草刈り作業や祭り支援を行った。

さともんでは、2017年より野生動物の潜み場となる耕作放棄地を丹波篠山の
特産品「黒豆」の畑に再生するプロジェクトを行っています！
豊かな恵みを分かち合う人と人とのつながりで豊かな里地里山を私たちと守りませんか？

自分にあったコースを選べる！ 詳しい内容は
こちらで確認！

遠方から応援したい！
KURUMAME OWNER
黒豆オーナー
1口 15,000円
※年2回黒豆をお届け！※郵送料込み！
丹波篠山の農家さんから直接
黒豆・枝豆が送られて来る！

現地で体験したい！
KURUMAME FAMILY
黒豆ファミリー
1口 18,000円
※年3回黒豆をお届け
苗植えから収穫まで体験が出来ます。
各イベント丹波篠山ならではの軽食付！

QR CODE CHECK IT OUT

【お問い合わせ先】
さともん 里地里山問題研究所
〒669-2214
兵庫県丹波篠山市味間新315
TEL/FAK 079-550-9037
MAIL info@satomon.jp

丹波篠山 黒豆オーナー

黒豆オーナーとは 黒枝豆・黒豆 年中込み

美味しく食べて地域を応援！
先着30組限定！

丹波篠山
黒豆オーナー
プレミアム
二〇二三年度！
黒豆知らずも
幻のピンク豆が
買える！

幻のピンク豆をご存知ですか？

丹波篠山でお試し農家体験♪
農村CHALLENGE
農村チャレンジ

自分の畝で黒豆づくりに
挑戦してみませんか？

② 川阪オープンフィールドほか、川阪集落の支援

2019年度に新規スタートした川阪オープンフィールド。2025年度は約2週間に一度の頻度で計34回開催。合計で1年間に延べ432名（川阪住民除く）が参加し、遊休農地の有効活

用に従事した。その他、有機栽培のお米づくり「川阪のしずくオーナー制度」を設立し、17 オーナー（口）の参加を得た。また、川阪集落の川阪活性化委員会の運営支援を行っており、2025 年度は、川阪活性化委員会としてひょうごフィールドパビリオンに登録し、5 月 30 日には大阪・関西万博会場に出展して川阪 OPF の PR 活動を行った。また、2024 年度より住民と共に検討してきた「デジタルタイムカプセル」企画にて、「10 年後に残したい川阪」をテーマに秋祭りなどの伝統行事をはじめとした集落活動の動画撮影などにも取り組んだ。さらに、川阪の取り組みを PR するための取り組みとして、中学生社長と小学生副社長による起業「株式会社 RIDE ON」と連携し、協力のもと集落住民が所有するシャッターにアートを描く「シャッターアート」製作イベントも実施した。

4 月 13 日 「山の芋の植え付け」



4 月 29 日 「田植え」



6 月 20 日 「黒豆の苗植え」



11 月 24 日 「野菜収穫」



12 月 15 日 「集落餅つき」



10 月 19-20 日 「秋祭り支援」



万博会場での PR 出展



「川阪シャッターアート」製作



③ 矢代栗拾い支援

単純に収穫した生産物を購入するのではなく、獣害の存在を理解し、サルはじめ野生動物から努力して守った/守るというストーリーやプロセスを含んだ農産物販売に取り組むため、特産品である丹波栗の収穫や獣害や獣害対策の状況を体験できるイベントとして「サルから守った丹波栗拾いイベント」企画・運営した。地域では人手不足や高齢化により、栗の収穫が収穫後のイガの処理作業が十分にできない状況があり、栗の収穫時期にあわせて下記のように平日もあわせて6回人員を募集し、合計121名（延べ）の地域外参加者の協力を得た。



④ おとわの森 PIZZA サークル

2023 年 6 月から 1 ヶ月に 1 度の頻度で休日に「PIZZA サークル」を開催している。隣接するおとわの森のきのこ園やキラリ棟横の畑を利用し新鮮野菜を収穫し、自分で作ったピザ生地にはトッピングし、2020 年度に制作したピザ窯で焼く作業までを親子で楽しんだ。また 5 月には新たにタンドール窯も作成し、調理の幅も広げた。3 月の開催では、新たに始まる事業に向けて家具の再生プロジェクトも兼ねて開催をし、沢山の棚などの再利用にもつなげた。2025 年度は計 5 回開催し、延べ 54 人が参加した。※6-12 月、2 月は中止



(4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業

① 獣害対策関連商品の販売

サルに効果的な電気柵「おじろ用心棒」、中型動物対策「楽落君」など、効果的な電気柵の販売をほかの獣害対策資材販売を行った。

② 獣害から守った里地里山の農林産物の販売（獣がい対策応援消費）

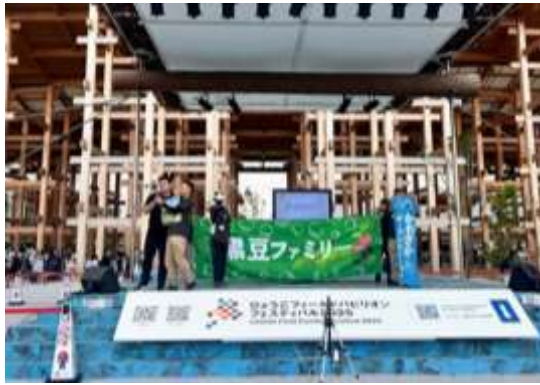
A) BASE でのオンライン販売

黒枝豆、丹波栗など獣害から守った地域の特産品をオンラインストアで販売した。



B) イベントでの出店販売

大阪万博夢洲会場での出展（5 月 30 日）



兵庫県立美術館での展示（9月4日～10月13日）



ひょうご楽市楽座への出店（9月20・21・27・28日）



「丹波篠山旭や」にて「さともん小麦」を使用した全粒粉パンの販売を開始



C) 源流のお米とオーガニック野菜の定期便「篠来たる」

地域支援型農業（CSA）の定期便：源流のお米とオーガニック野菜の定期便「篠来たる」2025-26 年度シーズンはお米の定期便（5 kg 玄米 6,600 円/月）、オーガニック野菜の定期便（6,600 円/月）に分けて会員を募集した。お米の定期便については 22 名、オーガニック野菜の定期便は 1 名の会員を獲得した。お米については、川阪集落のお米を中心に西紀北地区、後川地区の源流のお米。オーガニック野菜については、丹波篠山市の有機農家のグループ「ささやま自然派」の協力を得て、運営をしている。



(5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業

被害対策・捕獲等の現場にてセンサーカメラを用いて野生動物の行動調査を随時行った。

(6) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業（上廣財団教育研究活動助成を活用）

2024 年度から公益財団法人上廣倫理財団教育研究活動助成を受け、「里山共生学創成のための教育事業開発」をテーマに 2 名の特任研究員を雇用し、都市部住民はじめ多くの関係人口創出と拡大による地域の課題解決や野生動物と共生できる里地里山づくりのための活動として、

1. 野生動物の存在価値・肯定的価値を高める

2. 里地里山の未来を担う人材育成

を目的に、以下の事業を実施した。

① 事業 1. 野生動物との共生および地域への肯定的価値の付与を目指した「市民調査」と「サステイナブル・ツーリズム（仮称）」のしくみづくり

■ 川阪 miniBioblitz の実施

2025 年度の新規事業として、丹波篠山市川阪地区において「川阪 miniBioblitz」を実施した（2025 年 6 月 21 日～22 日）。調査では、哺乳類・昆虫・魚類・鳥類を対象として、カメラトラップ・ボイストラップ・シャーマントラップ・ピットホールトラップ・任意採集・ライトトラップなど多様な手法を組み合わせ実施した。その結果、少なく

とも昆虫 18 種、魚類 7 種、両生類 7 種、爬虫類 1 種、鳥類 18 種等が確認され、現地での即時同定が困難な種も多数発見された。確認された種のリストを作成し、生物相アーカイブの基盤を構築した。継続的な調査によるアーカイブの蓄積を今後の目標とする。また、パンフレットを作成して成果を広く公開し、事業の周知を図った。



■ 獣がいスタディツアーの実施

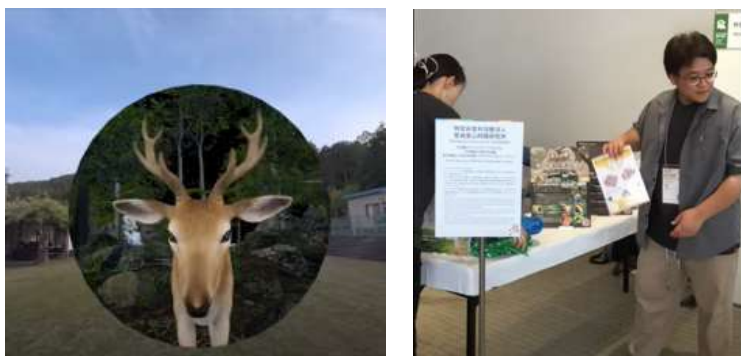
丹波篠山市の宿泊施設ユニットピアささやま、Panasonic ECO RELAY JAPAN と協力して、2026 年 2 月に、野生動物の観察と公園を組み合わせたスタディツアーを実施し野生動物の調査や獣がいの学習体験を観光資源化する取り組みを試みた。ユニットピア内の自然共生サイトを含むエリアで主にニホンジカの観察を目的としたライトセンサスと、哺乳類の生息状況を調べるためのカメラトラップ調査を実施した。旅行サイト「じゃらん」等を利用して、参加者を広く一般から募り、小学生から一般まで幅広い年齢層からの参加を得た。



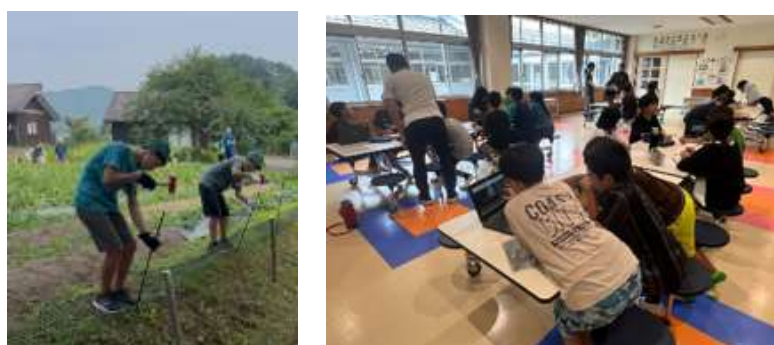
■ 里山の価値を届ける MR 体験コンテンツを利用した普及活動

野生動物との共生および丹波篠山の里山が持つ生態的・文化的価値を広く社会に伝えるため、混合現実（MR）技術を活用した体験型動画コンテンツを 2024 年度中に制作していた。コンテンツは丹波篠山の里山の現状と野生動物の生態をリアルに紹介しながら、野生動物との共生や地域資源としての里山の価値の転換を訴求する内容とし、日本語・英語・中国語の多言語に対応することで、国内外の幅広い層への発信を可能とした。

2025 年度はこの MR コンテンツを利用して、丹波篠山市内外の複数の場で展示・体験機会を設けた。市外では大阪・関西万博会場、兵庫県立美術館での EXPO TERMINAL、ひょうご楽市楽座に出展し、国際的な来場者を含む幅広い層にアプローチした。丹波篠山市内でも市民センターまつりや直会市などの地域イベントに出展し、地元住民への普及にも取り組んだ。これらの活動を通じて、合計約 400 名が本コンテンツを体験した。



- フォーマル教育を活用した市民調査と野生動物に対する肯定的価値の付与
丹波篠山市立大山小学校において、2024 年度に続くカメラトラップを活用した野生動物調査を継続して実施した（6 月～9 月、対象：5・6 年生）。2024 年度は参加者に映像への興味関心や野生動物への好意的な反応が見られたことが示されたが、2025 年度はその成果を踏まえ、野生動物の生息適地について平易な表現で解説したうえで、児童自身が自主的な判断でカメラ設置位置を決定するという、より主体的な調査体験を導入した。撮影データの確認・分析・考察・発表を児童自身が担うことで、研究の一連の流れを体験する機会を提供した。児童からは「かわいい」といった野生動物への好意的な感情が引き続き見られると同時に、害獣という一面的な理解を超え、野生動物の生態的特徴を踏まえた多角的な視点への気づきも確認された。



② 事業 2. 里地里山の野生動物や自然を学ぶための体系的教育プログラムの検討

- 専門家とともに学ぶプログラムの開発（昆虫分野）

今年度は、昆虫の専門家である東京都立大学の矢崎英盛氏に講師をお願いして、4 つのプログラムを実施した。1 つめは、ちるみゅーで実施した「ごんた山で生き物を探そう！ with 昆虫博士とサル博士」（2025 年 8 月 3 日午前・午後の 2 回実施）であり、

2つめが、さともんが主催するワイルドキッズで実施した「昆虫博士と生き物探しに挑戦」(2025年8月4日午後の1回実施)であった。この2つについては、神戸大学大学院人間発達環境学研究科の研究倫理審査委員会の承認を得るとともに、保護者の同意を得た上で実施した。その他に、PENS いきものキャンプ参加者を対象としたプログラム(2025年8月5日午前)と、ちるみゅーのスタッフを対象としたプログラム(2025年8月5日午後)を試行的に実施した。



■ 専門家とともに学ぶプログラムの開発(哺乳類分野)

哺乳類分野では川添研究員を中心に、3件のプログラムを開発、実施した。1つめは、丹波篠山市立大山小学校における「小学生を対象とした野生動物と人間活動との軋轢を解消し野生動物に対する多様な意識を構築するプログラムの開発」(2025年6月~9月)であり、2つめは、PENS いきものキャンプでのセンサーカメラを用いた野生動物観察ワークショップ(2025年8月4日、5日)、3つめはちるみゅーでの「動物なりきり大冒険 in ごんた山」(2025年8月23日)であった。1つめについては、神戸大学大学院人間発達環境学研究科の研究倫理審査委員会の承認を得るとともに、保護者の同意を得た上で実施した。



■ 専門家とともに学ぶプログラムの開発(評価の方法)

昆虫分野の「ごんた山で生き物を探そう! with 昆虫博士とサル博士」と「昆虫博士と生き物探しに挑戦」、哺乳類分野の「小学生を対象とした野生動物と人間活動との軋轢を解消し野生動物に対する多様な意識を構築するプログラムの開発(以下、大山小野生動物プログラム)」は、ワークショップを実施するだけではなく、研究調査の対象とし、神戸大学大学院人間発達環境学研究科の研究倫理審査委員会の承認を得るとともに、保護者の同意を得た上で実施した。

■ ワークショップを通した自然への興味を引き出すプログラムの実践

高橋研究員が実践するプログラムとして「ボタニカルフレーム」のワークショップを開発した他、ちるみゅーでこれまでに行われていた定番のワークショップ「スタンプングマイバック」と「しぜんの万華鏡」の一部を改良することで、他のスタッフでも実施しやすい形でのワークショップを提案した。



■ ちるみゅーの自然を紹介する展示の作成

ちるみゅーの既存展示には、季節の変化に応じた地域特有の自然を紹介する内容が十分に含まれていなかった。そこで 2025 年度も昨年度に引き続き、ちるみゅースタッフおよび川添研究員の協力を得て、館内に生息する生き物や野生動物の調査を行い、その成果を写真展示として公開した。あわせて、季節に応じて敷地内で採集した自然素材を用いた作品展示を行うなど、里山の自然に対して幅広い層の来館者が興味・関心を持つことを目的とした工夫を行った。さらに今年度は、写真展示に加え、川添研究員が実施しているごんた山における野生動物調査で得られたセンサーカメラ映像を閲覧できる QR コードを提示し、来館者が自身のスマートフォン等で視聴できる展示を実施した。保護者がスマートフォンをかざし、子どもに動画を見せる姿や、展示の前で動物について話す姿が見られた。



■ ちるみゅーの里山（ごんた山）利用実態の把握

昨年度に引き続き、今年度もごんた山の利用実態の把握を行った。年間を通じて最も入山者が多かったのは昨年度と同様に 5 月（463 名）であり、次いで 4 月（106 名）であった。一方で、昨年度は 2 番目に多かった 10 月（112 名）は、今年度は 31 名と最も少ない月となるなど、季節による変動が見られた。今年度からはワークショップ参加者による入山も計上することになったため、5 月の入山率は 11.0%と 10%を上回ったが、

その他の月は昨年度と同様に 10%未満にとどまった。



③ 事業 3. 里地里山を守る企画力・実践力を身に付けるためのインターンシップ制度と大学教育との連携

■ 里地里山を守るための地域支援人材の育成

少子高齢化と人口減少が進む農村では、深刻な獣害に直面しながらも、対策を担う人材が年々減少している。こうした中で、さともんのこれまで蓄積してきた知見を元に、地域内外の多様な人材と連携し、獣害を“解決すべき問題”から“地域活性化の起点”として捉えなおす人材を育成するための講座：「獣がい対策×まちづくり」コーディネート基礎講座を開催した。全国から 12 名の受講者（うち学生 1 名）の参加を得て、丹波篠山市の現地研修やグループワーク、オンライン講義を通じて、獣害対策を「人と人のつながり」や「持続可能な地域づくり」に昇華させていく視点とスキルを提供した、また最終回では、各受講者が、講座で得た学びや気づきをもとに、自分なりの「獣がい×まちづくりプラン」を発表し、多様な人材の関わりを生み出し、地域を元気にする実践的な構想を描いた。



■ 大学教育プログラムとの連携

2026 年度から丹波篠山市に新設される神戸大学里山共生講座と連携した様々な人材育成のための教育・研究プログラムを持続的に展開するための準備を行った。大学教育・研究の展開を国際的な視野で考えるための取り組みとして、2025 年度は台湾から 2 名の専門家を迎え、意見交換を行った。国立屏東大学の蘇秀慧准教授と台湾東海大学の高明脩研究員を迎え、台湾と日本それぞれの里山における獣害の現状について地域の市民も交えながら情報交換を行うとともに、地域課題の解決に向けた大学の役割や学生を含めた教育・研究の現状についても幅広く意見交換し、国際的な教育・研究プログラム展

開の可能性を検討した。

(7) 里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育てを支援する事業
おとわの森子育てママフィールド事業（市補助事業）

「すべてのママが心ゆるせる仲間と共に自分を磨き、輝くことで自分を大切にでき、子育てを楽しめる社会を目指す」（2020年1月31日作成）を理念に掲げ、①子育てで心ゆるせる仲間を作る ②自分を磨き、笑顔が輝く ③ママが「心の余裕」をもてる地域社会を作ることをミッションとし、シリーズイベント、ツキイチイベント、ツキイチ勉強会、その他イベント、施設一般利用等を行った。2025年度までの登録者数1232人、来園者・イベント参加者数は延べ8876名となった。



3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

- ① 通常総会 令和7年6月29日 10時～11時
議事内容 令和6年度（第10期）事業報告、会計報告
令和7・8年度（第11・12期）事業計画案、予算案
第6期役員（案）、定款変更
- ② 臨時総会 令和8年2月18日 11時30分～12時00分
議事内容 令和7年度及び8年度（第11・12期）事業計画
令和7年度及び8年度（第11・12期）活動予算
定款変更
- ③ 理事会 年1回開催
第1回理事会 令和7年6月25日 13時30分～14時30分
議事内容 令和7年度事業計画案、予算案の承認
- ④ その他例会
さともん10周年イベント 令和7年5月24日（土）

(2) 会員（令和7年度）

正会員 12 名（鈴木克哉、森光未恵子、垣内敬造、中山史夫、長尾勝美、鈴木友美、川井
正幸、高根沢均、室山泰之、京極暁、山崎義博、香川裕一、以上入会順）
賛助会員（団体） 4 団体（株式会社 末松電子製作所、株式会社ジャパンファースト、株式
会社アイエスイー、Panasonic エコリレージャパン）

第2号議案

令和7年度 特定非営利活動に係る活動計算書

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

科目		金 額（単位：円）	
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員	24,000		
賛助会員(個人)	20,000		
賛助会員(法人)	200,000		
会 費 収 入 計			244,000
2 事業収益			
(1) 獣害対策及び里地里山保全活動支援事業(注1)			
丹波篠山市獣がい対策関連業務	1,199,000		
丹波篠山市獣害対策推進業務	900,000		
大丹波地域サル対策広域協議会関係業務	886,600		
サル用電気柵設置業務	3,473,800		
市外ニホンザル調査・推進業務	5,489,396		
市外獣害対策指針業務	5,761,844		
人材育成関連業務	660,000		
サルイチ保守業務	1,188,000		
小計	19,558,640		
(2) 里山問題取り組み等の発信事業(注2)			
講師派遣	638,000		
視察受入	444,250		
人材育成講座	924,600		
小計	2,006,850		
(3) イベント等の交流運営事業(注3)			
BBオーナー制度	65,030		
黒豆ファミリーオーナー制度	3,461,291		
川阪しずくオーナー制度	449,712		
その他イベント参加料	492,000		
小計	4,468,033		
(4) 獣害対策商品及び農産物等の販売事業(注4)			
丹波篠山市電気柵資材納入業務	8,712,000		
獣害対策商品販売等収益	529,865		
農産物・加工品等販売収益	3,811,811		
小計	13,053,676		

(5) 獣害解決等の研究開発事業(注5)		0		
		0		
(6) 人と野生動物共生社会の実現事業(注6)		0		
		0		
(7) 子育て・子育て等交流運営事業				
	petit prix委託収益(篠山市)	8,150,000		
	前期分委託収益返金額(篠山市)	△ 301,212		
	施設管理収益	447,000		
	イベント収益その他	185,250		
	小計	8,481,038		
事業収益計			47,568,237	
3 受取助成金等				
	上廣倫理財団「里山共生学創成のための教育事業開発」	16,642,150		
	セブン-イレブン記念財団「NPO基盤強化」	3,935,480		
	その他助成金等	479,000		
受取助成金等計			21,056,630	
4 受取寄付金等				
	(1) 寄付金	111,000		
	(2) 受取利息	33,113		
	(3) 雑収入	149,393		
受取寄付金等計			293,506	
経常収益合計				69,162,373
Ⅱ 経常費用				
1 事業費				
人件費				
	給与手当	26,066,087		
	雑給	0		
	法定福利費	2,123,359		
	福利厚生費	73,882		
	人件費計		28,263,328	
その他経費				
	商品仕入高	11,510,255		
	外注費	0		
	荷造運賃	0		
	広告宣伝費	1,118,349		
	交際費	94,747		
	会議費	11,408		
	旅費交通費	1,958,208		
	諸謝金	1,233,727		
	食材費	439,249		
	消耗品費	3,056,193		
	修繕費	13,000		

	新聞図書費	282,104	
	諸会費	11,000	
	支払手数料	148,756	
	地代家賃	600,000	
	賃借料	300,000	
	保険料	55,405	
	租税公課	3,366	
	支払報酬料	660,000	
	研修費	531,731	
	減価償却費	201,781	
	委託費	3,416,306	
	通信費	767,229	
	雑費	1,500	
	衛生費	3,900	
	その他経費計		26,418,214
	事業費計		54,681,542
2 管理費			
	人件費		
	役員報酬	6,000,000	
	給与手当	0	
	雑給	0	
	法定福利費	2,194,717	
	福利厚生費	73,320	
	人件費計		8,268,037
	その他経費		
	広告宣伝費	634,594	
	交際費	27,788	
	会議費	8,370	
	旅費交通費	998,667	
	食材費	124,682	
	消耗品費	1,386,551	
	事務用品費	66,000	
	修繕費	36,168	
	水道光熱費	157,501	
	新聞図書費	37,990	
	諸会費	215,680	
	支払手数料	573,913	
	地代家賃	817,084	
	賃借料	0	
	保険料	167,470	
	租税公課	1,405,628	
	支払報酬料	1,146,200	
	研修費	21,000	
	減価償却費	118,511	
	委託費	46,008	

支払利息	76,943		
通信費	549,136		
雑費	7,500		
車両費	54,720		
その他経費計		8,678,104	
管 理 費 計		16,946,141	
経 常 費 用 計			71,627,683
経 常 差 益			△ 2,465,310
Ⅲ 経常外収益			
経 常 外 収 益 合 計		0	
Ⅳ 経常外費用			
経 常 外 費 用 合 計		0	
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 加 額			△ 2,465,310
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税			72,000
当 期 正 味 財 産 増 加 額			△ 2,537,310
前 期 繰 越 正 味 財 産			8,414,146
次 期 繰 越 正 味 財 産			5,876,836

※注

- (注1) 地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業
- (注2) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業
- (注3) 地域の獣害及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業
- (注4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業
- (注5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業
- (注6) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業

(法第28条第1項関係様式例、報告式)

令和7年度特定非営利活動事業に係る会計貸借対照表

令和8年3月31日現在

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
(現金・預金)			
現金	416,355		
普通預金	7,854,367		
現金・預金 計		8,270,722	
(その他流動資産)			
未収入金	13,266,852		
仮払金	20,000		
前払費用	8,820		
丹波篠山市獣害対策推進業務		13,295,672	
流動資産合計			21,566,394
市外ニホンザル調査・推進業務			
市外獣害対策指針業務			
機械装置	236,314		
車両運搬具	2		
什器備品	832,181		
有形固定資産 計		1,068,497	
(無形固定資産)			
無形固定資産 計		0	
(投資その他の資産)			
差入保証金	60,000		
出 資 金	30,000		
投資その他の資産 計		90,000	
固定資産合計			1,158,497
3 繰延資産			
繰延資産 計		0	0
資産の部合計			22,724,891

Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	5,079,019		
仮 受 金	2,117,257		
未払法人税等	72,000		
未払消費税等	650,000		
預 り 金	97,779		
流動負債 計		8,016,055	
2 固定負債			
長期借入金	8,832,000		
固定負債 計		8,832,000	
負債の部合計			16,848,055
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		8,414,146	
当期正味財産増加額		△ 2,537,310	
正味財産の部合計			5,876,836
負債及び正味財産合計			22,724,891

《 科 目 内 訳 書 》

現 金		416,355
-----	--	---------

普通預金	三井住友銀行	7,185,659
	ゆうちょ銀行	97,997
	中兵庫信用金庫	564,858
	JA丹波ささやま	4,853
	中兵庫信用金庫	1,000
	計	7,854,367

未収入金	丹波篠山市/令和7年度獣がい対策支援員コーディネート業務委託	1,199,000
	大丹波地域サル対策広域協議会/令和7年度大丹波協議会事務委託業務	886,600
	伊根町/令和7年度サルイチシステム保守	396,000
	大丹波地域サル対策広域協議会/電気柵資材追加	29,568
	川本町/令和7年度サルイチシステム保守	396,000
	大丹波地域サル対策広域協議会/令和7年度サルイチシステム保守	396,000
	大分県/令和7年度かんしょ産地サル被害対策実証事業ニホンザル対策推	1,746,800
	京都府/令和7年度ICTを活用した有害鳥獣対策モデル事業計画支援業務1	748,000
	京都府/令和7年度ICTを活用した有害鳥獣対策モデル事業計画支援業務2	1,255,100
	福知山市/令和7年度野生鳥獣東総合対策事業ニホンザル生息状況調査	1,062,820
	川本町/令和7年度川本町鳥獣被害防止総合支援事業サル複合対策業務	1,787,500
	京都府/令和7年度ICTを活用した有害鳥獣対策モデル事業計画支援業務3	1,173,700
	京都府/令和7年度ICTを活用した有害鳥獣対策モデル事業計画支援業務4	132,000
	和歌山県/視察受入費	74,250
	菅自治会/電気柵設置作業	118,800
	山ノ口ショウタ/電気柵資材販売	45,155
	ネッツトヨタ神戸(株)/枝豆等販売	251,894
	邑久光明園/獣害柵設置作業	449,944
	丹波篠山市/生物多様性補助金	98,000
	福知山市/R7年度講師派遣料①	99,000
	福知山市/R7年度講師派遣料②	99,000
	ペライチ	821,721
	計	13,266,852

仮払金	プティプリ給与	20,000
-----	---------	--------

前払費用	リサイクル預託金	8,820
------	----------	-------

差入保証金	高梁市 保証金 契約保証金	60,000
-------	---------------	--------

出資金	丹波ささやま農業協同組合	30,000
-----	--------------	--------

未払消費税等		650,000
--------	--	---------

未払法人税等	法人税	0
	地方法人税	0
	法人県民税	22,000
	法人事業税	0
	特別法人事業税	0
	法人市民税	50,000
	計	72,000

未払金	3月分給与手当	2,213,632
	未払諸経費	2,865,387
	計	5,079,019

預り金	源泉所得税	36,979
	住民税	60,800
	計	97,779

仮受金	次期返済助成金	セブンスレブンス財団	37,680
	次期返済助成金	上廣倫理財団	2,079,577
	計		2,117,257

長期借入金	鈴木克哉	役員借入	60,000
	日本政策金融公庫	当初借入額：1,000万円	8,772,000
		計	8,832,000

会費収入	正会員	24,000
	賛助会員(個人)	20,000
	賛助会員(法人)	200,000
	計	244,000

財務諸表の注記

1.重要な会計方針

財務諸表の作成はNPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月21日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は定率法を採用しております。

無形固定資産は定額法を採用しております。

(2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上します。

また計上額の算定方法は「3.施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載することとしております。

(3)ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は「4.活動の減価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記することとしております。

2.事業費の内訳

市外ニホンザル調査・推進業務

市外獣害対策指針業務

3.施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

当期は施設の提供等の物的サービスの受入はありませんでした。

4.活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

当期は活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供はありませんでした。

5.使途が制約された寄附金等の内訳

使途が制約された寄附金等はありませんでした。

6.固定資産の増減の内訳

勘定科目名称	細目	取得価額	期首簿価	当期取得	当期減少	当期償却	期末簿価	償却累計額
機械装置	トラクター	1,100,000	1	0	0	0	1	1,099,999
機械装置	大豆選別機	1,170,000	354,824	0		118,511	236,313	933,687
車両運搬具	サンバー	439,900	1	0	0	0	1	439,899
車両運搬具	ハイゼット	450,000	1	0		0	1	449,999
什器備品	プロジェクター	159,980	1	0	0	0	1	159,979
什器備品	殺菌庫	390,000	1	0	0	0	1	389,999
什器備品	PC・アドビP	355,960	0	355,960	0	44,495	311,465	44,495
什器備品	保冷库	568,000	0	568,000	0	47,286	520,714	47,286
什器備品	ビデオカメラ	110,000	0	110,000	0	110,000	0	全額償却
合 計		4,743,840	354,829	1,033,960	0	320,292	1,068,497	3,565,343

勘定科目	<イベント等の交<里山問題取り組		<獣害解決等の研<獣害対策商品及		<獣害対策及び里<人と野生動物共		<子育て・子育ち<こども誰でも通		<上廣倫理財団補<セブンイレブン		<管理費>
	流運営事業>	み等の発信>	究開発事業>	び農産物等>	地里山保全>	生社会の実>	等交流運営>	園制度>	助金関係>	記念財団>	
商品仕入高	25,500	4,100	0	10,345,334	1,135,321	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,000,000
給与手当	0	0	0	0	7,710,335	0	5,138,779	0	10,816,973	2,400,000	0
法定福利費	0 0	0	0	0	285,259	0	630,215	0	1,207,885	0	2,194,717
福利厚生費	0 0	0	0	0	0	0	73,882	0	0	0	73,320
広告宣伝費	12,102 261,805	0	0	0	0	0	14,400	0	213,602	616,440	634,594
交際費	2,200 91,374	0	0	1,173	0	0	0	0	0	0	27,788
会議費	0 11,408	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,370
旅費交通費	25,936 119,080	0	0	0	674,930	0	222,432	0	836,790	79,040	998,667
諸謝金	48,000	0	0	0	169,250	0	645,145	0	371,332	0	0
食材費	179,041 202,235	0	0	1,260	18,094	0	37,923	0	696	0	124,682
消耗品費	437,789 175,054	0	0	190,857	38,919	0	651,657	139,061	1,422,856	0	1,386,551
事務用品費	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,000
丹波篠山市獣害	0 0	0	0	0	0	0	13,000	0	0	0	36,168
水道光熱費	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	157,501
新聞図書費	0 0	0	0	0	0	0	8,730	0	273,374	0	37,990
市外ニホンザル	0 0	0	0	0	0	0	1,000	0	10,000	0	215,680
市外獣害対策指	500 2,200	0	0	0	0	0	22,440	0	123,616	0	573,913
地代家賃	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	600,000	817,084
賃借料	0 0	0	0	0	0	0	0	0	300,000	0	0
保険料	21,805 0	0	0	0	0	0	33,600	0	0	0	167,470
租税公課	0 0	0	0	0	0	0	36	0	3,330	0	1,405,628
支払報酬料	0 0	0	0	0	420,000	0	0	0	0	240,000	1,146,200
研修費	0 498,781	0	0	0	0	0	0	0	32,950	0	21,000
減価償却費	0 0	0	0	0	0	0	0	0	201,781	0	118,511
委託費	1,276,103 63,750	0	0	358,688	860,400	0	115,200	0	742,165	0	46,008
支払利息	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76,943
通信費	13,125 0	0	0	488,214	114,950	0	66,140	0	84,800	0	549,136
雑費	0 1,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,500
車両費	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54,720
衛生費	0 0	0	0	0	0	0	3,900	0	0	0	0
経費計	2,042,101 1,431,287	0	0	11,385,526	11,427,458	0	7,678,479	139,061	16,642,150	3,935,480	16,946,141

財 産 目 録

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

令和8年3月31日 現在

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資 産 の 部			
1 流動資産			
(現金・預金)			
手 許 現 金	416,355		
普通預金			
三井住友銀行	7,185,659		
ゆうちょ銀行	97,997		
中兵庫信用金庫	564,858		
JA丹波ささやま	4,853		
中兵庫信用金庫	1,000		
普通預金 計	7,854,367		
現金・預金 計	8,270,722		
(その他流動資産)			
未 収 入 金	13,266,852		
仮 払 金	20,000		
前 払 費 用	8,820		
その他流動資産 計	13,295,672		
流動資産合計		21,566,394	
2 固定資産			
(有形固定資産)			
機械装置	236,314		
車両運搬具	2		
什器備品	832,181		
什器備品 計	1,068,497		
有形固定資産 計	1,068,497		
(無形固定資産)			
無形固定資産 計	0		
(投資その他の資産)			
差入保証金	60,000		
出 資 金	30,000		
投資その他の資産 計	90,000		
固定資産合計		1,158,497	
3 繰延資産			
繰延資産 計	0		
繰延資産合計		0	
資産の部合計			22,724,891
II 負 債 の 部			
【流動負債】			
未払消費税等	650,000		

未払法人税等			
	法人税	0	
	地方法人税	0	
	法人県民税	22,000	
	法人事業税	0	
	特別法人事業税	0	
	法人市民税	50,000	
		72,000	
仮受金			
	セブンイレブン記念財団	37,680	
	上廣倫理財団	2,079,577	
		2,117,257	
未払金			
	未払3月分給与等	2,213,632	
	諸経費	2,865,387	
	未払金 計	5,079,019	
預り金			
	源泉所得税	36,979	
	住民税	60,800	
	預り金 計	97,779	
流動負債合計			8,016,055
【固定負債】			
長期借入金			
	役員借入金	60,000	
	日本金融政策公庫	8,772,000	
	長期借入金 計	8,832,000	
固定負債合計			8,832,000
負債の部合計			16,848,055
Ⅲ 正味財産の部			
【正味財産】			
	前期繰越正味財産	8,414,146	
	当期正味財産増加額	△ 2,537,310	
正味財産の部合計			5,876,836

これは当法人の財産目録である。

令和 8年 5月 31日

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

理 事

鈴木 克哉



監査報告書

令和8年6月29日

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所
代表理事 鈴木 克哉 殿

監事 辻 直美



私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人 里地里山問題研究所の令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日）の業務監査および会計監査を行った。

業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）に当たっては、理事会他の会議に出席または資料確認をし、必要と認められる場合には質問を行い、意見を表明した。

会計監査（財産の状況に関する監査）に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問等を行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理はNPO会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記期間にかかる事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が令和8年3月31日における財産の状況を適正に示しているものと認める。

以 上

令和8年度事業計画書（案）

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

1. 基本方針

令和8年度は、（１）「地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業」に関する各自治体からの委託事業を予定します。また、（２）「獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業」と（３）「地域の獣害問題及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業」について、実施内容や回数、エリアをさらに拡大し、都市部からの支援者の獲得に努めます。また、「獣がい×まちづくり」コーディネート講座を継続、新規に「獣がい対策プランナー養成講座」を開催し、獣がい対策の推進のための地域支援人材の育成を行います。ほか視察やインターンの受け入れも行う予定です。さらに、丹波篠山市内で「第9回獣がい対策実践塾」「第9回獣がいフォーラム」の企画・運営に協力し、高校生や大学生はじめ獣がい対策の新たな担い手育成のための研修会や地域を元気にする前向きな獣がい対策について理念や議論を共有する場づくりを行うほか、大山小学校の依頼を受け、ふるさと教育で栽培するスイカを鳥獣から守るプロジェクトの実施、トライやるウィークの中学生の受け入れを行います。（４）「獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業」については、寄付つき定期便「篠来たる」の会員拡大を図るとともに、黒枝豆・丹波栗・「篠来たる」などをオンラインやイベントで販売し、地域農産物の価値向上と所得向上を支援します。その他、効果的な獣害対策技術・商品の普及を行います。（５）「獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業」では、センサーカメラを用いた野生動物の行動調査を行い、地域ごとの被害実態の把握と対策提案に活用（６）「里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育てを支援する事業」として、旧おとわ園（こども園）を活用した子育て支援拠点施設「おとわの森子育てフィールド」の運営（補助事業）により、豊かな里地里山に恵まれた篠山における子どもの健全育成ならびに多世代交流を促進するとともに、里地里山問題解決のために子育てママや女性の活躍機会の場を促進します。また、新たにきらり棟を活用して「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」を実施します。また、当施設で週末のピザサークル、丹波篠山ワイルドキッズプログラムを運営し、丹波篠山市内の子育て家族や小学生が森や自然・生き物に親しみ様々な体験をする場を提供します。（７）「人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業」では、公益財団法人上廣倫理財団の助成を受け、丹波篠山市西紀北地区・畑地区で「豊かな農村の未来を創るモデルづくり事業」を推進していきます。

2. 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	プロジェクト内容	実施月 実施回数	実施場所	対象者	収益見込 (千円)
（１）地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業	丹波篠山市獣害対策事業（実施隊支援）	随時	丹波篠山市内	丹波篠山市民	700
	大丹波地域サル対策広域協議会事業（事務局業務）	随時	丹波篠山・丹波・福知山・京丹波・南丹	管内住民	1,000
	サル用電気柵設置事業	11月	岡山県高梁市内	高梁市住民	4,000

	市外ニホンザル調査・指導業務	随時	福知山市・島根県川本町・大分県	対象地域住民	6,410
	市外獣害対策支援業務	随時	京都府・その他	対象地域住民	5,000
	人材育成関連委託業務	随時	丹波篠山市内	市民	660
	サルイチ保守	随時	大丹波・伊根町・川本町	対象地域住民	1,188
(2) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業	獣害対策研修会講師派遣	随時	全国	対象地域住民	600
	獣がい対策視察受入	随時	丹波篠山市内	行政・学生・市民等	700
	人材育成事業（さとやまカレッジ、獣がい×まちづくりコーディネート講座、獣がい対策プランナー養成講座）	随時	丹波篠山市内	学生・地域おこし協力隊・企業・市民等	1,000
	獣がい対策実践塾・獣がいフォーラム運営企画協力	随時	丹波篠山市内	市内高校生・市民・他地域行政関係者等	0
	丹波篠山ワイルドキッズプログラム		おとわの森子育てママフィールド／丹波篠山市内	丹波篠山市内（外）小学生 18 名	600
	トライやるウィーク受入	6 月	丹波篠山市内	中学生 3 名	0
(3) 地域の獣害及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業	黒豆オーナー制度（ファミリー・オーナー制度・農村チャレンジ、安口・川原集落の草刈り・獣害柵支援）	随時	丹波篠山市（安口・川原）	ファミリー50名 オーナー100名 ボランティア延べ700名	4,000
	川阪集落：川阪オープンフィールド・川阪のしずくオーナーの運用	随時	丹波篠山市内（川阪）	ボランティア延べ400名	500
	その他関係人口による地域支援等（BB、矢代集落支援、畑地区支援）	随時	丹波篠山市内	ボランティア延べ70名	870
(4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の生産・加	獣害から守った農産物販売（「篠来たる」含む）	随時	Web サイト	都市住民	4,000
	獣害対策商品の販売（電気柵資材等）	随時	法人事務所	一般市民	1,000

工・販売に関する事業					
(5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業	センサーカメラの設置による野生動物調査	随時	丹波篠山市内(畑地区)	地域住民／市民	0
(6) 里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育てを支援する事業および保育事業(地域子育て支援拠点事業、乳児等通園支援事業、小規模保育事業等)	おとわの森子育てママフィールド運営事業(地域子育て支援拠点事業)	週5日開園	おとわの森子育てママフィールド	子育て世代(丹波篠山市内外)	7,349
	乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)	週1日	おとわの森子育てママフィールド(きらり棟)	子育て世代(丹波篠山市内)	2,624
	施設管理業務	随時	おとわの森子育てママフィールド	子育て世代(丹波篠山市内外)	447
	豊かな環境を活かした子育て・子育て支援イベント(おとわの森ピザサークル他)	月1回随時	おとわの森子育てママフィールド	子育て世代・親子(丹波篠山市内外)	220
	関連団体との連携検討	随時	丹波篠山市内	子育て世代(丹波篠山市内外)	0
(7) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業	他先進地域の取り組み状況の把握等	随時	法人事務所、他	—	0
受取助成金等	上廣倫理財団(豊かな農村の未来を創るモデルづくり事業)	随時	丹波篠山市内	丹波篠山市内外	30,000
	セブンイレブン助成金(NPO基盤強化)	随時	丹波篠山市内	丹波篠山市内外	4,000

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

①通常総会 2026年6月29(予定)

②理事会 年2回(予定)

(2) 事務局体制

事務局長：鈴木克哉(代表理事兼任)、事務局スタッフ：松下久美子

令和8年度 特定非営利活動に係る活動予算書

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

科目	金 額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員	54,000	
賛助会員	200,000	
会 費 収 入 計		254,000
2 事業収益		
(1) 獣害対策及び里地里山保全活動支援事業(注1)		
丹波篠山市獣害対策推進業務	700,000	
大丹波地域サル対策広域協議会関係業務	1,000,000	
サル用電気柵設置業務	4,000,000	
市外ニホンザル調査・対策推進業務	6,410,000	
市外獣害対策推進業務	5,000,000	
人材育成関連業務	660,000	
サルイチ保守業務	1,188,000	
小計	18,958,000	
(2) 里山問題取り組み等の発信事業(注2)		
講師派遣	600,000	
視察受入	700,000	
人材育成事業収入	1,600,000	
小計	2,900,000	
(3) イベント等の交流運営事業(注3)		
BBオーナー制度	70,000	
黒豆ファミリーオーナー制度	4,000,000	
川阪しずくオーナー制度	500,000	
その他イベント参加料	800,000	
小計	5,370,000	
(4) 獣害対策商品及び農産物等の販売事業(注4)		
農産物・加工品等販売	4,000,000	
獣害対策商品販売等	1,000,000	
小計	5,000,000	
(5) 獣害解決等の研究開発事業(注5)		
小計	0	
(6) 子育て・子育・保育事業(注6)		
おとわの森子育てママフィールド運営事業	7,349,000	
乳児等通園支援事業	2,624,000	
施設管理収益	447,000	
イベント収益その他	220,000	
小計	10,640,000	
(7) 人と野生動物共生社会の実現事業(注7)		
小計	0	
(8) 農山漁村の振興に貢献する事業		

		小計	0		
	(9)その他当法人の目的を達成するために必要な事業				
		小計	0	42,868,000	
	事業収益計				
3	受取助成金等				
	上廣倫理財団(豊かな農村の未来を創るモデルづくり事業)		30,000,000		
	セブンイレブン助成金(NPO基盤強化)		4,000,000		
	受取助成金等計			34,000,000	
4	受取寄付金等				
	(1)寄付金		200,000		
	(2)定例会収益		0		
	(3)受取利息		35,000		
	(4)雑収入		150,000		
	受取寄付金等計			385,000	
	経常収益合計				77,507,000
II 経常費用					
1	事業費				
	人件費				
	給与手当		35,200,000		
	雑給		200,000		
	法定福利費		5,500,000		
	福利厚生費		200,000		
	人件費計		41,100,000		
	その他経費				
	商品仕入高		2,700,000		
	外注費		1,200,000		
	広告宣伝費		1,000,000		
	交際費		50,000		
	会議費		10,000		
	旅費交通費		1,000,000		
	諸謝金		500,000		
	食材費		300,000		
	消耗品費		4,000,000		
	支払手数料		50,000		
	地代家賃		600,000		
	賃借料		350,000		
	保険料		60,000		
	支払報酬料		900,000		
	研修費		200,000		
	委託費		3,500,000		
	通信費		800,000		
	雑費		30,000		
	その他経費計		17,250,000		
	事業費計			58,350,000	
2	管理費				
	人件費				
	役員報酬		6,000,000		

給与手当	1,200,000		
雑給	0		
法定福利費	900,000		
福利厚生費	100,000		
人件費 計	8,200,000		
その他経費			
広告宣伝費	0		
交際費	50,000		
会議費	50,000		
旅費交通費	1,700,000		
食材費	50,000		
消耗品費	2,250,000		
修繕費	10,000		
水道光熱費	180,000		
新聞図書費	30,000		
諸会費	150,000		
支払手数料	500,000		
地代家賃	320,000		
保険料	200,000		
租税公課	1,700,000		
支払報酬料	1,000,000		
研修費	50,000		
減価償却費	150,000		
委託費	50,000		
支払利息	50,000		
通信費	500,000		
車両費	1,750,000		
雑費	20,000		
その他経費計	10,760,000		
管 理 費 計		18,960,000	
経 常 費 用 計			77,310,000
経 常 差 益			197,000
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益合計		0	
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用合計		0	
税引前当期正味財産増加額			197,000
法人税・住民税及び事業税			72,000
当期正味財産増加額			125,000
前期繰越正味財産			5,876,836
次期繰越正味財産			6,001,836

※注

- (注1) 地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業
- (注2) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業
- (注3) 地域の獣害及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業
- (注4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の生産・加工・販売に関する事業
- (注5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業
- (注6) 里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育てを支援する事業および保育事業
(地域子育て支援拠点事業、乳児等通園支援事業、小規模保育事業等)
- (注7) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業